

医療と地域をつなぐ、コミュニケーションマガジン

からたち



新年のご挨拶

○薬剤師よりワンポイントアドバイス

○管理栄養士よりヘルシークッキング「鏡開き」

2016年1月
No.32
新春号

からたち
No.32

からたち No.32 2016年新春号 ●発行／2016年1月 ●編集／柳川病院広報委員会 ●発行者／一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院
〒832-0077 福岡県柳川市筑紫町29番地 TEL0944-72-6171(代表) FAX0944-72-2092 http://www.yanagawa-hsp.jp/

撮影者／主任理学療法士 溝部 勝幸

外来診療担当医一覧表

※平成28年1月1日現在

午前	8:30~11:00(月)~(土)
午後	13:00~16:00[血液内科(木)/アンチ・エイジング診療(木)]
	13:30~16:00[脳神経外科(金)]
	14:00~16:00[外科(火)]

※急患については、この限りではありません。
※都合により診療日・時間が変更になる場合がございます。確認のうえご来院ください。
※「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診療を行います。

外来担当医表	月	火	水	木	金	土
内科 消化器内科	午前 新患 再来	於保 和彦 菅偉哉 島松 裕	垣内 誠也 菅偉哉 島松 裕	重松 聰江 於保 和彦 島松 脰江	菅偉哉 重松 脰江	島松 裕 於保 和彦 垣内 誠也
血液内科	午後				川口 城毅	
肝臓外来 (第2土曜日)	午前 (下記 ※1参照)					宮島 一郎
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後 (下記 ※1参照)	於保 和彦				
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前 新患 再来 午後 再来 予約			中村 由育 中村 由育	樺島 正治 樺島 正治	廣松 雄治
循環器内科	午前 新患 再来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医 (急患のみ)
心臓血管外科	午前		土井 一義		土井 一義	
外科 消化器外科 乳腺外科	午前 新患 再来 午後 再来	貝原 淳 西村 太郎	田中 克明	貝原 淳 龍 泰彦	田中 克明	担当医
整形外科	午前 新患 再来 午後	野崎 修 古畑 友基	古畑 友基 野崎 修	野崎 修	野崎 修 古畑 友基	古畑 友基 園畑 素樹 (股関節、手の外科) 【手術のみ】
産婦人科	午前	高橋 俊一	高橋 俊一	高橋 俊一	嘉村 敏治 高橋 俊一	高橋 俊一
	午後	(手術日)		(手術日)	アンチ・エイジング診療 上杉 佳子	(手術日)
皮膚科	午前	辛島 正志	辛島 正志	休 診	辛島 正志	辛島 正志
泌尿器科	午前	林 秀一郎			植田 浩介	
脳神経外科	午後					緒方 敦之
健診センター	午前	岩本 元一	岩本 元一	岩本 元一	岩本 元一	岩本 元一 喜多 奈穂
検査担当医表	月	火	水	木	金	土
放射線科	午後				小金丸 雅道	
専門エコー外来	午後				黒松 亮子	
内視鏡検査	(下記※2参照)	担当医 向笠 道太	担当医	担当医	担当医 渡辺 靖友(第2.4)	担当医

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。 ※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。

柳川病院(代表)TEL 0944-72-6171 FAX 0944-72-2092 〒832-0077 福岡県柳川市筑紫町29番地



●交通アクセス

西鉄柳川駅よりタクシー 5分
西鉄柳川駅より西鉄バス 15分(市内循環線)
柳川市コミュニティバス べにばな号 蒲池・両開・昭代ルート、大和・三橋ルート
JR佐賀駅バスセンターより西鉄バス 約50分
九州自動車道 みやま柳川インターチェンジより車 約20分
九州自動車道 八女インターチェンジより車 約30分
※所要時間は目安です。

新年のご挨拶

新年のご挨拶

理事長 日名子 泰通

からだち 01 N.O.32 2016年1月

理事長付特命理事 嘉村 敏治

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、つづがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から当院の運営に際しまして、地域の皆さま、関係医療機関、及び行政機関の皆さまにご支援頂き感謝申し上げます。

さて、柳川病院は福岡県から委譲を受けて、本年四月で十年目を迎えます。

柳川市の中核病院としてここまで来られましたのも、県立病院時代から現在まで支えて下さいました皆さん方のお陰だと思っております。重ねまして、心より感謝申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。二〇一六年のさわやかな新春を迎えて一言、挨拶を申し上げます。

本年はわが柳川病院にとって特別な年です。当院は昭和三十二年に福岡県立柳川病院としてこの地に開設されました。平成十九年に現在の財団に移譲され、早や十年目という節目の年を迎めました。私は移譲と同時に柳川病院に赴任し、随分様変わりしました。救急医療の強化、内視鏡センターの開設、心臓カテーテル検査、治療や心臓・血管外科手術の開始、整形外科医の増員、皮膚科常勤医の招聘、新病棟の完成など、地域のニーズに対応しながら少しづつ前進してまいりました。これも地域の皆様や関係各位のご支援の賜物であり、この場を借りて御礼申し上げます。

さて、平成二十八年は診療報酬改定の年度です。今、国の財政難は危機的状況にあり、医療・介護業界には厳しい改定とな

新年あけましておめでとうございます。

早いもので当院も県立病院から当院に移譲されて十年が経過しようとしています。その間医療を取り巻く環境は大きく変わってきましたが、柳川病院はその中で一貫して急性期病院として地域の医療施設と協力して住民の方々の急性疾患の治療を行ってきました。さらに高齢化の波がここ柳川山門

アベノミクス成長戦略の下「日本再興戦略」が閣議決定された後、超高齢社会にふさわしい医療の促進がなされており、今後ますます「病床の機能分化と連携」が重要になると思われますので、柳川病院においても地域に貢献し必要とされる病院を目指していきます。

平成二十八年も、当院の基本理念である「地域に親しまれ、信頼される病院を目指します。」を掲げ、職員一同、地域と連携した医療の提供に取り組んでまいる所存でございまして、旧年にも増してご厚誼のほどお願いします。

今後もより一層、地域医療機関との連携を強化しまして、患者さまに安心・満足した医療を提供できる体制を確保していく事が柳川病院の使命だと思っております。

新年あけましておめでとうございます。また国が進める地域医療構想による病床機能分化・連携は待ったなしで進められています。当院が将来どのような形態、規模の病院として生き残っていくのかを明確にする必要があります。地域に求められている柳川病院の姿とは何か。それは”身近な急性期病院”であると確信しています。濃密な治療が必要な”従来型急性期”と後期高齢者の肺炎や骨折などを治療し、リハビリテーションを行い、在宅に移行させる”生活支援型急性期”的両方を併せ持つ”ことが柳川病院の使命であると思ひます。

柳川病院の基本理念は「地域に親しまれ、信頼される病院を目指します」です。今年も、地域の皆様により安心・安全な医療をお届けできるよう努力してまいりますので、ご支援、ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、二〇一六年が皆様にとってすばらしい一年となることを祈念して新年の挨拶といたします。

院長 於保 和彦

副院長兼看護部長 城野 美代子

新年あけましておめでとうございます。

当院も財団へ移譲後十年目を迎えました。

私も柳川病院へ勤務するようになり五年目となる節目の年であります。

今年は申年、干支の九番目であり申年の「申」は本来「しん」と読み、「のびる」や「もうす」という意味があります。

また、申には病や厄が「去る」と云われもあり縁起の良いものとして、神社などでは祀られています。

縁起の良い年に節目を迎え、昨年以上に職員一丸となって地域の皆様のために、何が出来るか?を考えながら看護の提供に努力したいと心新たに決意しております。

病院を発展させるためには、チャレンジし続けないと組織は衰退すると言わわれております。職員がプライドをもって働く職場作りを心がけ、職員と一緒に汗を流し、現場で協働する病院であります。

地域の方々が住み慣れた場所で、最後まで過ごせるようにサポートしていく覚悟です。

今年も宜しくお願い致します。「のびて、発展」出来るよう

を行っています。また死因の第三位に上がっています肺炎に関しても内科を中心して集中的治療を行っています。

さらに高齢化の波がここ柳川山門地区にも押し寄せていますが、整形外科では転倒などによる骨折治療や骨折部位によっては人工関節や人工骨頭の置換術などを行っており、その後のリハビリテーションも充実しています。

その他婦人科では卵巣囊腫、子宮筋腫に対する腹腔鏡手術を数多く行っています。また子宮がん、卵巣がんに重要な患者さんにはハイケア病床、回復病床を作り、地域包括ケアの中で急性期病院としてさらに高度の医療サービスを行っています。

病院として地域の医療サーシスを行っています。また死因の第三位に上がりますが、脱毛症に関してその原因精査、治療を本院の診療は現在の三大死因の中でトップを占めるがん、その中でも右肩でトップを占めるがん、その中でも右肩に取り組んでまいり所存でございまして、旧年にも増してご厚誼のほどお願いします。

対しては手術、化学療法による治療、特に大腸がんに対しては腹腔鏡による手術を中心に行ってます。がんの次に早期発見のためのマンモグラフィーや消化管内視鏡を行っています。進んだがんに上がりの乳がん、大腸がんに対して早期発見のためのマンモグラフィーや消化

心筋梗塞などの心疾患に対しては心臓カテーテルによる治療を数多く手掛けおり、心臓外科も備えていることから万全の体制で心臓疾患の治療

に医療を通じて健康づくりに貢献しています。

この他にがんを含めた各種成人病の早期発見また予防を目的とした健診事業にも力を入れてあります。

このように柳川病院は地域の皆様に医療を通じて健康づくりに貢献していく所存です。

皆様にとって本年が良い年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様にとつて今年も良い年でありますようお祈り申し上げます。

柳川病院に赴任し一回目の新

年を迎えた。昨年からは積極的に腹腔鏡を用いた手術を行い、患者様にやさしい医療を目指しております。

柳川山門医療圏で唯一の外科治療を行っている病院として、地区の患者様は当院での治療が受けられるように努力しております。当院の基本理念でもありますように、地域の皆様に親しまれ、信頼される病院を目指し、日々の診療を行っております。

昨年同様柳川山門医師会の

先生方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

副院長兼外科部長 貝原淳

内科部長 菅偉哉

かぶだち 03 N.O.32 2016年1月

新年あけましておめでとうございます。

当院内科の得意分野は内視鏡検査および治療です。上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡検査、胆道脾臓疾患に対する内視鏡は年々増加傾向にあります。早期がんの発見、内視鏡的治療も増加し、治療技術の充実をはかり、患者さま方により良い医療を提供できるよう努力してまいります。どうぞご期待ください。

新年あけましておめでとうございます。

今年も皆様のご健康を願いつつ、女性の健康のために頑張っていきたいと思っています。更年期治療の一環として、アンチ・エイジング（抗加齢医療）も行っています。

今年も宜しくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます。

昨年は受診患者数、手術件数そして紹介患者数も増えました。伸びしろはまだありますので、より多くの診療を行うように努めて参ります。

今年もよろしくお願い申し上げます。

産婦人科部長 高橋俊一

皮膚科部長 辛島正志

循環器内科医長 松本徳昭

心臓血管外科部長 土井一義

整形外科部長 野崎修

新年あけましておめでとうございます。

循環器科は主に心臓病や血管の病気の専門科です。

診断し、他の疾患と鑑別し、治療や再発予防を行います。薬物療法中心の治療やカテーテルを使った侵襲の小さな手術なら循環器内科で治療します。

また、腹部大動脈瘤に対する低侵襲治療（ステントグラフト）も行っています。

今年もよろしくお願ひいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り致します。

の程、宜しくお願ひ致します。

今年もよろしくお願ひいたします。



管理栄養士より ヘルシークッキング 鏡開き

「1月11日」は鏡開きの日です。
鏡開きとは、お正月に神様や仏様にお供えしていた鏡餅を下げる、
今年1年の無病息災を願って、お餅を食べるという風習です。



今回の食材 小豆

小豆の主成分は炭水化物で、高タンパク質・低脂質といわれており、さらにビタミン・ミネラルも豊富です。

ビタミンB群 炭水化物や脂質・タンパク質を効率よく分解・合成してくれます。



カリウム 利尿効果があり、むくみ防止・解消に働きます。

食物繊維 特に皮の部分に多く、腸内環境を良くして便秘を改善してくれます。

お祝い事に良く用いられる小豆は、邪気を払い、身を守ってくれるといわれています。
そこで今回は、鏡餅と小豆を使ったぜんざいのレシピを紹介したいと思います。

今回のレシピ ぜんざい

材料(4人分)

小豆	140g
水	600cc
砂糖	100g
塩	少々
もち	4個

圧力鍋で時短!



作り方

- ① 軽く洗った小豆とたっぷりの水(分量外)を加え、強火にかける。(ここでは、蓋はしない。)
- ② 沸騰したら、ざるにあげてお湯を捨てる。(渋きり作業)
- ③ 圧力鍋に小豆と水をいれ、加熱する。
- ④ 圧力がかかったら、弱火で15~20分加熱し火を止める。
※鍋の場合は1時間程軟らかくなるまで加熱する。
- ⑤ 圧力が完全に抜けたら、分量の1/2の砂糖をいれ、20分煮る。
- ⑥ 残りの砂糖と塩を加えて、5分煮て火を止める。
- ⑦ 器に盛り、焼いたお餅を盛付けできあがり。



* この季節はストーブを利用して鍋で1時間程度コトコト煮るのもいいでしょう。

薬剤師よりワンポイントアドバイス

患者さんと医師・看護師を繋ぐ存在でもある薬剤師。薬に関する様々な業務に取り組んでいます。今回は花粉症について伺いました。

花粉症について

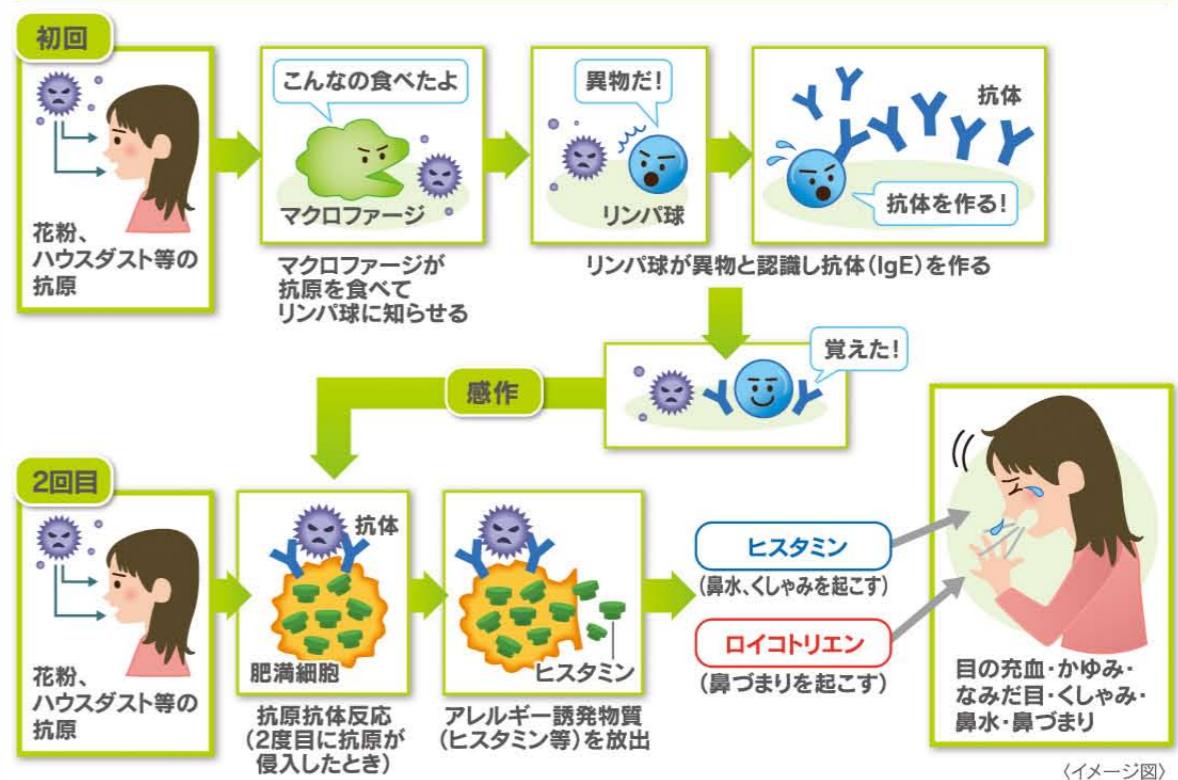
ス

ギ花粉の飛散開始時期は、1月~2月の気温が高いと飛散開始も早くなるといわれています。2016年の西日本ではこの時期の気温が平年よりも高いとの予報であるため、例年より早く2月上旬から飛散が始まると予想されています。

飛散数は前年の夏の気温が高く、また日照時間が長いと多くなります。西日本の2015年夏は低温・日照不足・多雨であったため、2016年の福岡の花粉の飛散数は例年よりも少ないと予測されています。しかし、前シーズンの花粉の飛散数が非常に少なかったことから、前年に比べると福岡では3倍以上の飛散数に相当するため、前シーズンはあまり症状が出なかつたという方も注意が必要かもしれません。

[アレルギー性鼻炎が起こるしくみ]

第一三共ヘルスケア HPより



花粉症に対する薬剤は『抗ヒスタミン薬』『抗ロイコトリエン薬』『肥満細胞からのヒスタミン等の放出を防ぐ)化学伝達物質遊離抑制薬』『ステロイド薬』等があり、内服薬・点鼻薬・点眼薬と様々な剤形があります。

作用	薬品名
抗ヒスタミン薬	エバステル、アレジオン、ジルテック、アレグラ 等
抗ロイコトリエン薬	オノン、シングレア 等
化学伝達物質遊離抑制薬	ノスラン点鼻薬、リザベン点眼薬 等
ステロイド薬	フルナーゼ点鼻薬、フルメトロン点眼薬 等

これらの薬剤はあくまでも一例です。使用する際は用法・用量・注意点をしっかりと守って使用しましょう。